
王様ゲームスピンオフ

金沢伸明（伯）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

王様ゲームースピンオフ

【Nコード】

N2147W

【作者名】

金沢伸明（伯）

【あらすじ】

あの惨劇が再び繰り返される……。王様と名乗る人物からのメールに書かれた命令に従わなければ罰が与えられる。

原作『王様ゲーム』のスピンオフ作品。

ルールとクラス名簿（前書き）

私の大好きな作品のスピンオフです。

ルールとクラス名簿

ルール

- 1 クラス全員強制参加です。
- 2 王様から届いたメールの命令に24時間以内に絶対に従って下さい。
- 3 命令に従わなかった場合は罰があります。
- 4 王様ゲームを途中でやめることは絶対にできません。

以上

クラス名簿

- | | |
|----|------------------|
| 01 | 朝日孝太郎（あさひ こうたろう） |
| 02 | 阿部大輔（あべ だいすけ） |
| 03 | 石田美香（いしだ みか） |
| 04 | 上田孝明（うえだ たかあき） |
| 05 | 大本彩花（おおもと あやか） |
| 06 | 小原信太（おばら しんた） |
| 07 | 加賀美雪（かが みゆき） |
| 08 | 桑田真治郎（くわた しんじろう） |
| 09 | 熊田千晶（くまだ ちあき） |
| 10 | 進藤香織（しんどう かおり） |
| 11 | 鈴木三郎（すずき さぶろう） |
| 12 | 須藤恵梨香（すどう えりか） |
| 13 | 瀬尾剣志郎（せお けんしろう） |

14	高島直樹（たかしま なおき）
15	対馬宗太（つしま そうた）
16	根本久美（ねもと くみ）
17	野島琴梨（のじま ことり）
18	秦修平（はた しゅうへい）
19	藤原翔太（ふじわら しょうた）
20	藤原拓真（ふじわら たくま）
21	辺野葵（への あおい）
22	堀内泉美（ほりうち いずみ）
23	舞川姫華（まいかわ ひめか）
24	源春（みなもと はる）
25	目黒川貴弘（めぐろがわ たかひろ）
26	森下渉（もりした わたる）
27	夜中星（やなか きらら）
28	山本大和（やまもと やまと）
29	結城愛子（ゆうき あいこ）
30	吉田留美（よしだ るみ）
31	亘理凜々（わたり りんりん）
32	渡部晃平（わたなべ こうへい）
担任	福原鉄平（ふくはら てっぺい）

以上33名

ルールとクラス名簿（後書き）

不定期更新です

【7月10日（月）午後0時1分】

深夜0時といっても高3男子の翔太が寝ているはずもない。

翔太は部屋でオンラインゲームをしていた。

オンラインなので学校の友達とチャットしながら楽しめる。

ゲーム上、翔太の分身である『ショウタ』になりきっていた。

携帯がメールの着信を知らせているのも無視するほど熱中していたのだ。

チャット画面に友達の会話文がうつる。

「ワタル」0..02

なんか変なメール着たんだけどWWW

「コウタロウ」0..02

俺もww

王様ゲームとか吹いたWWW

「ワタル」0..02

ショウタ着た？

さっきのメールを確認した。

【7/10月00..00 送信者..王様 件名..王様ゲーム 本文..
これはあなたのクラス全員で行ってもらう王様ゲームです。王様の
命令は絶対なので24時間以内に従って下さい。※途中棄権は認め
られません。＊命令1..男子出席番号14、高島直樹、女子出席番
号9、熊田千晶 2人がキスをする END】

【7月10日（月）午後0時2分】

「なんだこれ？ イタズラかよ」

翔太は携帯をベッドに放り投げて再びパソコンに向かった。
シヨウタは力尽きており、チャット画面は更新されていた。

「ワタル」00..02
シヨウタ？

「ワタル」00..02
てか、いる？
いたら返事して！

「コウタロウ」00..02
トイレじゃね？
死んでるしwww

「ワタル」00..02
かもね、とりまボス殺そ

「ワタル」00..03
とりまねwww

「シヨウタ」00..07
ごめんメール見てた
なんかわからんけど返信できない
てか明日楽しみ！
マジで二人するかもな

「ワタル」00..07

じゃ、ボス殺ったら落ちるわ
こりゃ明日遅刻できねえーww

ボスは5分ほどで片づいた。

ボスの力もコウタロウの剣術の前では無力だった。

「コウタロウ」00..12

ボス弱っwwwwwwwwwwwwwwww

お疲れー

オレも落ちr

「ワタル」00..13

落ちm

「ショウタ」00..13

おやすみzzz

翔太も眠りについた。
いつもより深い眠りに。

【7月10日（月）午前8時10分】

いつも通り教室に入った。

今日はみんないつもより早く学校に来ている。
きっと命令のことだ。

「こいつとチューするなんて死んでも無理！」

「そんな言い方しなくてもいいだろ！！ 俺だってお前となんかキスしたくねえよ！ 姫華とならよかったのに」

直樹は姫華の方をちらりと見てウィンクした。

「ちょっと、なに言ってるのさ」

姫華は恥ずかしそうに顔が赤くなっていた。
一応メールのことなのか聞いてみる。

「なあ、大和、これって？」

「王様ゲーム！ なんか昨日の12時にクラス全員に王様メールが届いてるんだ。翔太にも届いたしょ？」

王様メールは全員に届いていた。

「絶対しないから！」

「俺だって！」

そんな二人を見てみんなは去っていった。

「ノリ悪くない、千晶？ やっちなよ！」

「王様の命令は？」

『絶対!!』

「だってさ！　しかたない！　いけ！」

すると直樹はちよつと照れながら

「しかたねーな。おい、千晶。キスさせてくれ」

「いいよ」

「いいんかい!？」

直樹は千晶に近づくと、肩をだきキスをした。
みんなの前で。

『ヒューヒュー!!!!』

「マジでしたよ！　やるね直樹!!」

そこに千晶の彼氏である信太が机を蹴散らして来た。

「ふざけんな！」

【7月10日（月）午前8時15分】

「おい、千晶！　ふざけんなよ！　なんでコイツとキスしたんだ！？」

「面白そうだったから」

「は？　もうダメだ別れる！」

「ぷっ！」

直樹は本気で怒る信太を見て吹き出した。

信太は直樹のところまで走り胸ぐらをつかんだ。

「てめえ、覚えてろよ」

「忘れるわけないじゃん。信太の大好きなち・あ・きとキスできたんだから」

「てめ！」

そこに担任が教室に入ってきた。

「おいどうした？　席につけ」

二人は睨み合いながら自分の席についた。

信太は直樹の机を蹴り飛ばし、直樹はそれを笑った。

ホームルームが始まる。

「えーと、今朝携帯を開いたらあるメールが着ていた。王様ゲームってやつだ。この中にはいないだろうけどこういうイタズラは止めるよ」

ホームルームは終わり、いつもと同じ一日が始まった。

夜にはみんな王様ゲームのことなんて忘れていた。
帰り際に誰かがこう言った。

「明日もメール来るといいな」

【7／10月8…30 送信者…王様 件名…王様ゲーム 本文…
服従確認 END】

【7月11日（月）午後11時42分】

翔太は学校から帰り、家に着くといつも通りの生活をし、いつも通り11時にPCを開きオンラインゲームを始めた。

現在11時42分。

翔太はこの生活を3年続けている。

チャット画面では昨日と同じメンバーでの会話が書き込まれていた。

「コウタロウ」 11..30

おす

乱入しますー

「ショウタ」 11..30

来んのおせーし

「ワタル」 11..32

てか昨日のマジだったよな

信太キレてたしw

明日も来るかも

「コウタロウ」 11..32

めっちゃ必死だったw w w w w w w w w

「ショウタ」 11..32

もうすぐ12時じゃん

「ワタル」 11..32

そだな

いつも通りの会話をし、0時まであと2分となっていた。

「コウタロウ」 11..58

Re. もうすぐ12時じゃんww
メール来い!!!

「ショウタ」 11..59

コウタロウに来るかもなw
てか着てほしいwwwwww

「ワタル」 11..59

wwwwww

「コウタロウ」 11;59

姫華とキスみたいなねww
ガチ来い!ww

「ワタル」 00..00

来た!

「ショウタ」 00..00

キター!

「コウタロウ」 00..01

ワイ!!!／＼(o.....▽.....o)
／ワイ!!!

「ショウタ」00..01
じゃ、落ちるわ

「ワタル」00..02
w

「コウタロウ」00..02
内容ヤバw w w

翔太は真っ暗な部屋の中、携帯を探し、メールを開き、内容を確認した。

その内容は昨日よりエスカレートしていた。

【7/11月00..00 送信者..王様 件名..王様ゲーム 本文..
これはあなたのクラス全員で行ってもらおう王様ゲームです。王様の
命令は絶対なので24時間以内に従って下さい。※途中棄権は認め
られません。*命令2..男子出席番号14、高島直樹、女子出席番
号3、石田美香 高島直樹が石田美香の足を舐める END】

「やば！ ハハ、今日の罰じゃん。信太の恨みかな？」

【7月11日（火）午前0時7分】

信太は命令を見て喜んだ。

石田美香は見るに耐えないほどのブス。

直樹はその足をなめなければいけないのだ。

深夜にも関わらず信太の携帯が電話の着信を知らせる。

【着信あり】

それは直樹からだった。

昨日の一件で電話に出ることを迷ったが、メールじゃなく電話ということもあり、出た。

直樹はいつもの高い声とは違い、低く太い怒りのこもった声だった。

「何だよ、千晶と電話すればいいだろ」

『メールお前だろ!!』

「は? どういう意味だよ」

『王様はお前だって言ってるんだよ!!! 内容は俺が石田の足をな

めるだ! ふざけんな!!』

「いい気味だ! でも王様は俺じゃない。だいたい俺が王様ならお前と千晶をキスさせるわけないだろ?」

『いや、違う。お前は前から俺のことが嫌いだったんだ!! だから千晶とキスさせて俺をボコろうとした。でも担任が来て失敗したから二つ目のメールを送ったんだ! 違うか!?』

「違う。じゃあな」

信太は直樹の怒鳴り声に耐えられなくなり電話を切った。
そして王様に感謝した。

直樹に制裁を下してくれてありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2147w/>

王様ゲームスピンオフ

2011年10月9日14時43分発行